

(公財)京都市生涯学習振興財団	令和4年度経営計画 兼 経営努力結果
-----------------	-----------------------

基本事項			
所管局課	教育委員会事務局生涯学習部施設運営担当	本市出えん金	80,000 千円
基本財産/資本金	80,000 千円	本市出えん率	100.0 %

当年度の運営方針	
業務面	<p>目標1 「多様な生涯学習機会の提供」 市民の学習ニーズを踏まえ、大学・関係機関等と連携し、文化・歴史・芸術・健康・生活・科学など幅広い分野について、魅力的かつ多様な生涯学習講座を実施する。 コロナ禍での新しい生活様式を踏まえ、講演会の動画配信のほか、ホームページによる講座情報の発信や参加申込の利用を促進するなどのサービス向上に努め、豊かな市民生活の実現に向けた事業展開を行う。</p> <p>目標2 「豊かな市民生活の実現及び京都市の文化力向上を図る図書館事業の推進」 新しい生活様式を踏まえ、来館や一定時間の滞在にとどまらない図書館サービスの提供を含め、利用者の利便性の向上に取り組むとともに、市民のニーズや読書スタイルの変化に対応した魅力ある図書館づくりに努める。ホームページ上で、資料の予約、貸出延長、貸出や予約状況の確認が可能であるという従来の利便性の周知に努めるとともに、コロナ禍における非来館型サービスや、読書バリアフリーに向けた障害者サービスへの注目が高まっていることから、「電子書籍」サービスについて、その導入に向けて検討する。</p>
財務面	<p>目標 「事業運営費の抑制」 京都市が直接事業を行うことに比べ、当財団で「生涯学習事業及び図書館事業」を受託することにより、人件費等を含めた事業費が約7割に抑えられていることを踏まえつつ、今後も正規職員の少数精鋭化を進めるとともに、司書資格を有する嘱託職員等及び経験豊富な退職再雇用職員を積極的に活用するとともに、業務の効率化を進め、事業運営費全体の縮減に繋げる。 また、施設の開館時間見直しに伴い、より効率的な臨時職員の配置を行うことで人件費の抑制を図る。</p>
組織面	<p>目標 「財団職員による自立した組織運営体制の推進」 機能的且つ効率的な事業推進のための体制を整え、再雇用職員等の活用を推進し、経験によるスキル・ノウハウの蓄積を図ることで、業務の質を維持・発展させる。また派遣職員の縮減が進められるなか、財団固有職員の所属長配置を促進させ、財団職員による安定した組織運営体制の整備を進める。</p>
その他	<p>目標「専門性の高い事業展開を継続して推進するための取組の実施」 永年にわたる生涯学習事業及び図書館事業を実施する中で、公共性と専門性の高い取組を実現し、柔軟性及び効率性という点でも大きな成果を示してきている。 こうした質の高い事業を展開する財団として、一定水準以上の事業を継続させるにあたり、職員の採用活動において司書有資格者の採用や資格取得の推進に、待遇面での追加補填を行うことなく取り組み、専門性の高い職員がそのスキルを活かした事業展開や組織運営を実行できる体制を継続して進める。</p>

主要財務数値							(単位:千円)
	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考欄
	予算	実績	予算	見込	予算	実績(※)	
経常収益	1,698,739	1,666,214	1,685,880	1,672,210	1,643,373		
経常費用	1,696,931	1,661,302	1,684,962	1,671,292	1,642,455		
当期経常増減額	1,808	4,912	918	918	918		
当期正味財産増減額	108	2,250	118	118	118		
資産合計	-	802,194	-	-	-		
負債合計	-	679,872	-	-	-		
正味財産	-	122,322	-	-	-		
うち累積損益額	-	42,322	-	-	-		

京都市の人的支援・財政的支援

(単位:千円)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考欄
	予算	実績	予算	見込	予算	実績(※)	
補助金額		0		0	0		
派遣職員数		14人		11人	7人		
貸付金残高		0		0	0		年度末残高(見込)

当年度の取組目標に対する総括(※)

団体	
所管局	

(1)業務に関する取組

目標1「多様な生涯学習機会の提供」

当年度目標	市民の学習ニーズを踏まえ、大学・関係機関等と連携し、文化・歴史・芸術・健康・生活・科学など幅広い分野について、魅力的かつ多様な生涯学習講座を実施する。 コロナ禍での新しい生活様式を踏まえ、講演会の動画配信のほか、ホームページによる講座情報の発信や参加申込の利用を促進するなどのサービス向上に努め、豊かな市民生活の実現に向けた事業展開を行う。
当年度結果(※)	

指標	事業参加者数 (単位:人)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
		194,000	175,800	65,000	62,300	100,000	80,000	130,000

目標2「豊かな市民生活の実現及び京都市の文化力向上を図る図書館事業の推進」

当年度目標	新しい生活様式を踏まえ、来館や一定時間の滞在にとどまらない図書館サービスの提供を含め、利用者の利便性の向上に取り組むとともに、市民のニーズや読書スタイルの変化に対応した魅力ある図書館づくりに努める。 ホームページ上で、資料の予約、貸出延長、貸出や予約状況の確認が可能であるという従来の利便性の周知に努めるとともに、コロナ禍における非来館型サービスや、読書バリアフリーに向けた障害者サービスへの注目が高まっていることから、「電子書籍」サービスについて、その導入に向けて検討する。
当年度結果(※)	

指標1	図書館資料の予約冊数 (単位:冊)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
			1,990,000		1,986,000	1,964,000	2,466,000	1,974,000

指標2	京・ライブラリーねっとの充実による図書館資料の流通点数 (単位:冊)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
		2,994,000	3,405,000	2,997,000	3,236,000	3,204,000	3,756,000	3,207,000

(2)財務に関する取組

目標「事業運営費の抑制」

当年度目標	京都市が直接事業を行うことに比べ、当財団で「生涯学習事業及び図書館事業」を受託することにより、人件費等を含めた事業費が約7割に抑えられていることを踏まえつつ、今後も正規職員の少数精鋭化を進めるとともに、司書資格を有する嘱託職員等及び経験豊富な退職再雇用職員を積極的に活用し、業務の効率化を進め、事業運営費全体の縮減に繋げる。 また、施設の開館時間見直しに伴い、より効率的な臨時職員の配置を行うことで人件費の抑制を図る。
当年度結果(※)	

指標	正規職員数（年度当初） (単位：人)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	112	112	112	112	111	110	110	

(3)組織に関する取組

目標「財団職員による自立した組織運営体制の推進」

当年度目標	機能的且つ効率的な事業推進のための体制を整え、再雇用職員等の活用を推進し、経験によるスキル・ノウハウの蓄積を図ることで、業務の質を維持・発展させる。また派遣職員の縮減が進められるなか、財団固有職員の所属長配置を促進させ、財団職員による安定した組織運営体制の整備を進める。
当年度結果(※)	

指標	財団固有職員の課長級登用数（年度当初） (単位：人)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
		4		6	6	7	7	9

(4)その他の取組

目標「専門性の高い事業展開を継続して促進するための取組の実施」

当年度目標	永年にわたる生涯学習事業及び図書館事業を実施する中で、公共性と専門性の高い取組を実現し、柔軟性及び効率性という点でも大きな成果を示してきた。 こうした質の高い事業を展開する財団として、一定水準以上の事業を継続させるにあたり、職員の採用活動において司書有資格者の採用や資格取得の推進に、待遇面での追加補填を行うことなく取り組み、専門性の高い職員がそのスキルを活かした事業展開や組織運営を実行できる体制を継続して進める。
当年度結果(※)	

指標1	財団職員の資格保有率（司書） (単位：%)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
	74	74	74	76	75	76	75	

指標2	職員が講師を務める講座・研修等の実施回数 (単位：%)							
目標と実績	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	見込み	目標	実績(※)
		53		16	20	23	25	